

平成24年度第2回山口県教育振興推進会議（概要）

日時：平成24年11月27日(火)13時～15時05分

場所：教育委員会室

議 事 「山口県教育ビジョン」の次期計画の方向性等について

■ 事務局説明

資料1及び2に基づき事務局より説明

■ 意見交換

- 「3つの力・3つの心」はよい言葉だと思う。
- 志という言葉は、方向性という意味で夢よりもクリアな言葉。志をキーワードとしてどこかで生かしたらよい。
- 夢を叶えるためには、コツコツ積み重ねることが必要。
- 親として一番子どもに思うことは自立である。
- 指導要領が変わる前の世代が親になっているが、大人になりきれていない人が多い。
- 英語であいさつができるようになるなど、個人個人のグローバル化の視点が必要。
- 日本人はフェイストゥフェイスでのプレゼンテーションが苦手。授業でも児童生徒同士が言葉を交わしながら一つのを創り上げるような取組が必要。
- 部活等の団体スポーツを通じたコミュニケーション能力の育成が必要では。
- 本県の現状分析をする際には、全国平均との比較だけでなく、都市部と地方の比較や人口規模などが類似している県との比較等も必要ではないか。
- 知識にはグローバルな要素と、ローカルでないと対応できない要素がある。山口県なりの知識を創っていくという要素も必要では。
- 全年齢に共通する目標と、発達段階に応じた目標を整理したほうがよい。
- 高校生の就職率だけでなく、定着率の評価も必要では。
- 幼児教育の視点も必要では。
- 地域と社会を支えるというが、家族という概念も必要では。
- コミュニティスクールが全国1位2位であり、一つの特色である。地域ぐるみの教育の推進にもう少し言葉を添えて、重点的な取組としてもいいのでは。
- ジャンボリーは、子どもの元気、地域や学校の活性化等の意味で重要なビッグイベントであり、取組の柱として加えてはどうか。